

藤本太助



工務部の取締役部長を務める藤本太助さんは、1991年（平成3年）の入社以来、長きにわたり株式会社木村建設の発展に貢献してこられました。これまでに経験した印象深い出来事などについてお話を伺います。

——藤本さんは中途採用で入社されたとお聞きしましたが、転職に至った経緯を教えてください。

以前勤めていた会社も建設業で、15年ほど勤務しました。出身地である上益城郡山都町にある会社でした。ちよつとした土木工事に携わる機会もありましたが、主に手がけていたのは木造住宅の建築です。将来性を考えたときに、鉄筋コンクリートの建物の方が有利だと考えて、技術向上のために転職を決意した次第です。35歳くらいのときでしたね。

——入社後、初めて携わった鉄筋コンクリート建設のお仕事はいかがでしたか。

最初に担当したのは、くまもとアートポリスプロジェクトの一環で決まった「県営帯山A団地」の建築でした。新納至門（にいのしもん）さんの設計で、スカイウォークという橋で3つの棟をつないだ、デザイン重視の一風変わった団地です。

の者が担当していたのですが、途中から私が交代することになったのです。

現場に入ってみると、開始当初に行った土地の積算と設計書の内容に食い違いがあることに気づきました。さらに、その頃は大工さんも不足していて、木村建設から現場に行っていた、私を含めた4名ほどが大工仕事を手伝わないと間に合わない、という状況だったのです。

なんとか完成には漕ぎ着けられたものの、かなり大変な仕事だった上に、大幅な赤字を計上してしまいました。

そもその原因は、積算と設計書の違いによるものでしたが、担当者として非常に責任を感じましたね。特に上から叱責されることはありませんでしたが、自ら責任をとろうと辞表を書くに至ったわけです。

結局、川田本部長に相談したところ引き止められて、辞表はなかったこととなり、今もこうして木村建設でお世話になっていきます。当時は非常に悩んで、体調を崩してしまい1か月ほど会社を休みました。今思うと真面目だったんでしょうね。それからは、自分自身が強くなろう、と思うようになりました。もうこの年

になると、考え込むこともあまりなくなりましたけどね。

——最後に、今後の目標を教えてください。

退職まであと数年となりました。その間に、今まで自分が身につけてきた知識や技術で、後輩の役に立つことがあれば、伝えていきたいと思っています。

木村建設は雰囲気良くて、仕事の後に飲みに行くなど和気あいあいとしています。仕事の上でもコミュニケーションを上手にとつて、みなで仲良くやれたら良いですね。

退職後は、田舎に帰って、だいぶくたびれている実家の修繕をしていく予定です。孫がいるので、夏休みや冬休みに遊びに来られるようにしておきたいと思っています。

定年退職までのラストスパート、藤本さんは誠心誠意仕事に向き合い、後進に多くの財産を残してくれていることでしょう。

——その後、大きな失敗や挫折などは経験されましたか。

実は二度ほど、辞表を書いて提出したことがあります。そのうち一度は、入社から10年くらい経った頃ですね。当時は、SRCという鉄筋コンクリートづくりの賃貸マンションを手がけていました。もともとは別

企業情報

- 設立年：1956年12月（昭和31年）
- 年商：20億円
- 従業員数：40名

※2018年9月時点



施工事例紹介

ナチュラルコーヒー 基本情報

案件名：ナチュラルコーヒー
施工期間：5 か月
場 所：熊本市北区
チーム人数：大工 2 人、電気 1 人、設備 1 人、
設計 1 人、コーディネーター 1 人
概 要：新築木造の平屋建て

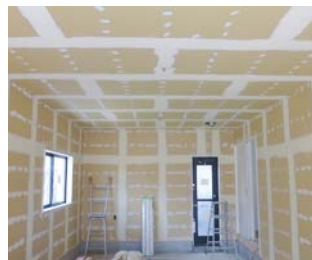
後藤 一也さんに聞く!

NATURAL COFFEE

受注の背景

オーナー様が会長のお知り合いだったため、施工のご依頼をいただきました。元々はコーヒーショップに保育園を併設した物件を予定していたそうです。しかし地震の影響で規模を

縮小し、コーヒーショップだけを新築することになりました。木造の平屋建てということで、通常通り基礎から施工を担当しています。



施工ポイント

デザイン性の高い物件ということで、雰囲気壊すことのないよう図面通りに施工を行いました。特にこだわったのは床です。オーナー様と設計担当の方に使用する木材をご指示いただき、おしゃれな木目の床に仕上げました。また、外壁は塗装ではなく塗り壁になっています。通りに面しているため、ひび割れなどがないように慎重に作業を進めました。こちらも床と同様、質の良い材料を使っています。夕日の入り方など、私たちが気付かないような細かい部分にもこだわった物件なので、デザインの奥深さを学ぶことができました。



完成後に利用しましたか？

私も同僚たちも、何度も利用しています。ランチにスリランカカレーを食べに行くことが多いです。チーズケーキもおすすめですが、やはりコーヒーが美味しいですね。自分が携わった店舗に足を運び、たくさんのお客さんが来ている様子を見ると達成感があります。



今後の展望

注目度が高く目立つ物件や、一風変わったデザイン性の高い物件などを担当してみたいです。そのような特別なものと、より一層やりがいがあるのではないかと思います。



バウハウス匠人の会 新年会

もう3月も後半になりましたが……
バウハウスでは業者の方々と新年会を行いましたので
その様子をお届けします！
2019年も張り切って参りましょう！！

イベント名：BAU.匠人の会新年会報告
月 日：2月2日(木)
場 所：ホテル日航熊本 中宴会場【天草】
幹 事 名：宮本 明奈さん、富田 みずほさん
池田 早織さん
参加人数：約70名



参加した感想

普段はゆっくり話す事の出来ない業者の方々と沢山お話が出来てよかったです。

今後の目標

資格を取りたいです！



宮本明奈さん



参加した感想

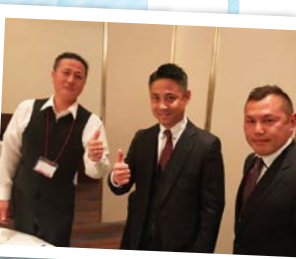
減多に顔を合わせない方も情報や意見交換でき、充実した時間となりました。

今後の目標

より幅広い方に知って頂けるように広報でも常にアイデアを出して、より多くのお客様とご縁をいただきたいです。



木村雅子さん



参加した感想

毎年、年を追うごとに人数が増え、会社と一緒に大きくなっている実感が湧きました。

今後の目標

全員で完工目標の28棟をクリアできるように一丸となり、2019年も忙しい一年を迎えたいです。



郡山俊介さん



武谷英伸さん

参加した感想

多くの方々のご協力があった一つの家が出来上がり、その積み重ねなんだと改めて感謝の想いを感じました。

今後の目標

一丸となって目標に向かって進んでいきたいと思っています。



密かで
地味な
自慢

私って実は〇〇なんです

自分から自慢するほどじゃないんだけど、みんなに知ってほしいこと・・・
「ご飯、何杯食べれます!」「山の手線の駅名、全部言えます!」どんな些細なものでも構いません。
これを機にたくさんの人に、あなたの密かな自慢を知ってもらいましょう!

体脂肪率が
若い男性並みの
10%代前半です!



営業部 次長

鈴木 好美さん

若い頃にスキューバ
ダイビングをやって
いて、国内外の海
で潜ったことがありま
す。



工務部
次長

宮本 政尚さん

熊本で開催されたプロ野球
オールスターの試合を
生観戦したことです。
近くで選手を見られて感動しました。



総務部

浦川 莉穂さん

素潜りで魚を獲る
ことができます。



工務部

植田 紘市さん

先日も震度6の地震が北海道でありました……できていますか?

災害への備え

【 普段行うべきこと 】

東日本大震災や熊本地震など、日本は高頻度で大地震に見舞われます。熊本地震からはまもなく3年が経とうとしています。「天災は忘れたころにやってくる」と言うように、普段忘れがちな災害への備え、改めてこの機会に確認してみたいかがでしょうか。

ニュースを見るたびに「対策をしなきゃなあ」と思っている、実際は何を準備すればいいのかわからない、という場合も多いのではないでしょうか? また、外出中に被災する可能性を考えると、家に防災リュックを準備してあっても油断できません。

そこで今回は、通勤中やちょっとした外出時に持ち歩くべきグッズを紹介します。

- 大判のハンカチ (粉塵避けや止血に)
- ホイッスル
- 帰宅用の地図 (紙媒体やオフラインで使えるアプリ)
- 携帯トイレ
- 鉛やチョコレート
- ウェットティッシュ
- LEDライト
- 絆創膏

まずは小さくて軽いものからいつものバッグに忍ばせてみましょう。少しの準備でも、いざというときには大きな助けになるはずです!

春は桜。桜はお花見。

冬の寒さも落ち着き、少しずつ桜の季節が近づいてきました。皆さんは、桜といえば何を連想するでしょうか。多くの方はまっさきに、お花見を思い浮かべることと思います。満開の桜の下で、食べて飲んでの大騒ぎ。暖かな日差しの中、きれいな桜を見ながら団らんするのは、本当に素晴らしいものです。

そんなお花見ですが、いつから始まったかご存知ですか？数々の和歌で詠まれているように、日本人ははるか昔から桜を愛し、桜に親しみ、日々の暮らしのよき友としてきました。しかし、それはあくまでも「眺めるもの」として。今の宴会形式ではなかったはずです。いつ頃から、今の「お花見」は始まったのでしょうか？

スタート地点は、日本で一番長い時代

記録を遡ると、どうやらそのルーツは江戸時代にありました。徳川幕府の三代将軍・家光から八代将軍・吉宗が、桜の植樹を推奨したため、江戸時代には各地で桜の名所が生まれ、その結果として、庶民の中でお花見が広まっていったのです。多くの人がひとつの場所に集まったことで、自然と桜の下でお弁当を広げ、飲んだり食べたり歌ったりするようになったと言われています。



世の中に絶えて桜のなかりせば
春の心はのどけからまし
(訳：この世に桜がまっなくなったら、春を過ごす人の心はどんなにのどかだったのか)

そもそもお花見はいつから？



お花見そのものは、はるか昔から存在しています。冒頭の和歌は平安時代に在原業平が詠んだもので、その頃には桜を愛でることが一般的になっており、かの有名な『源氏物語』にもお花見の話が収録されています。

さらに時代を遡ると、奈良時代にもお花見が楽しまれていました。唐に花を愛でるイベントがあると知った日本人たちが、それを真似て「花宴（はなのえん）」と

呼ばれる「梅の花」を見て、和歌を詠む会を開いていたと言われています。また、それよりも少し早く、農民たちも桜の開花を「田植えの始まり（＝神様の到来）を知らせるもの」と捉え、お花見をしていたそうです。桜の木にお供えをして、豊作祈願・占いをしていたと伝えられています。

私のおすすめスポット

「水前寺公園内」

公園内にあるのでとにかく景色が良いです。



植田 紘市さん

私のおすすめスポット

「熊本城 二の丸」

アクセスが良く、気軽に訪れやすいです。



中村 雅美さん

私のおすすめスポット

「八景水谷公園」

春は花見、夏は水遊び、秋は紅葉、冬はどんどやと1年中楽しめます。子供を連れていくにもオススメです。



酒井 健吾さん